

令和7年度 学校経営方針

丹波篠山市立八上小学校

1 学校経営の基本方針

教育は人づくり、人づくりは地域づくりの理念のもと、歴史と伝統（151年）によって培われてきた校風、地域社会（自然・文化・人材）との絆を基盤に、地域の未来を担う人材の育成を目指し、児童の教育に対する家庭・地域の思いや願いを共有しながら、協働して学校教育目標の具現化に向けた教育活動を推進する。予測困難な時代を生きていく児童に確かな学力と豊かな心を育むため、教科担任制の工夫改善、地域人材やICTの有効活用等によって学習の効率化を図り、ふるさと教育を核として様々なひと・もの・ことと実際に出会い学ぶ「令和の日本型・丹波篠山型（学校）教育」をより一層推進する。各児童が「在りたい自分・社会」をしっかりと描き、多様な他者の存在を尊重し協力し合いながら、意欲的・主体的に活動を進められる、ウェルビーングで持続可能な学校づくりを目指す。そのために、教職員が互いの専門性を融合させながら全児童の成長を支え合い、働きがいのある組織を構築していく。

2 学校教育目標

やさしい心を持ち 自ら考え みなぎる元気な 児童の育成

3 本年度の重点目標

- (1) 児童が主体的に学ぶ授業づくりを進め、自己学習力をつける。
 - ・児童が主体的・対話的で深い学びができるようカリキュラム・マネジメントを行い、教科担任制やICT、地域人材を有効活用した学習指導を工夫する。
- (2) 組織的に、児童がもっている良さや可能性を引き出し、望ましい生活習慣の定着を図る。
 - ・児童一人ひとりの内面に対する共感的理解に努め、自己有用感をもってそれぞれの個性を安心して発揮できるようユニバーサルな学校づくりをする。
 - ・ポジティブ(肯定的)な行動支援を行い各児童の自律を促しつつ、気持ちのよいあいさつ、心身の健康、時間を意識した行動などの基本的生活習慣の定着をめざす。
- (3) 「生きる力」の核となる豊かな人間性・自己のみならず多様な他者を思いやる心を育てるため、人権教育・道徳教育・特別支援教育を充実させる。
 - ・自分の役割を果たそうとする意欲の向上とやり遂げる気力・態度を培う。
- (4) 家庭・地域と協働し、ふるさと八上に根ざした「地域とともにある学校づくり」を進める。
 - ・家庭や地域との絆を深め、地域の人材・教材を活用した「ふるさと・キャリア教育」を推進して地域の良さを学び、ふるさとを愛し誇りに思う児童を育成する。

4 めざす児童像

- やさしい心をもった子（徳） 人との対話を通じて、思いやりの心を持つことのできる子
- かんがえる力をのばす子（知） 自分の学び方を身につけ、自ら考え、意欲的に学び続ける子
- みなぎる元気がある子（体） 体を動かす楽しさを感じ、心身ともに健康でたくましい子

5 めざす学校像（ユニバーサルな学校）

- 子どもにとって、「行きたい、学びたい、大好きな学校」
- 保護者にとって、「通わせて安心な学校」
- 地域にとって、「誇りに思い、支えたい学校」
- 教職員にとって、「やりがい、働きがいのある学校」

6 めざす教師像

- 教育に情熱をもち、自己研鑽に努める教師
- 教育の専門家として、使命感・責任感のある教師
- 子どもとともに学び、授業力・指導力を高め合える教師
- 子どもや保護者・地域・同僚から、尊敬され信頼される教師